

軟体型アクチュエータ・ユニットの組み立て例（3穴型チューブ利用）

バイオメタル・ファイバー（BMF）を折り返して使用する場合の組立手順を紹介します。

使用部材：3穴型チューブ（5cmx1ヶ）、はとめ端子（4ヶ）、BMF75（約12cm）

1) 各部材を配置する。

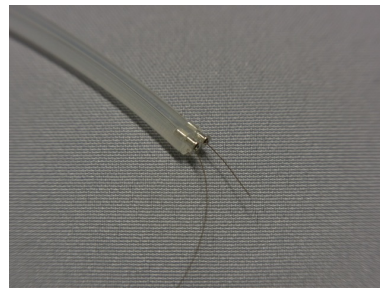
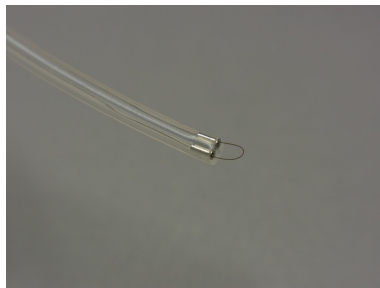
今回は、3つの穴のうち小さい穴2つのみを使用します。

大きい穴は、全体をまっすぐにするためのばね材を入れる場合、

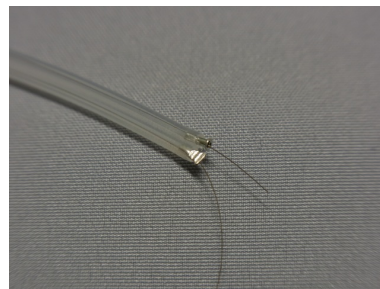
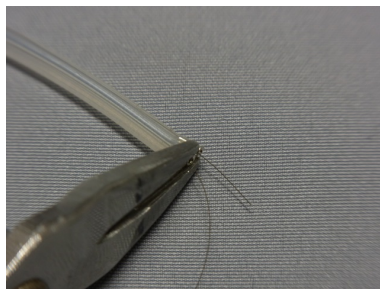
あるいはBMFを折り返さずに使用するために導体を通す場合等に使用します。



2) 端子は、BMF折返し側ではつば部分まで挿入します。端部側では、長さの半分まで挿入します。



BMF端部側の端子の片方をかしめます。



もう片方の端子をかしめます。この時BMFを引張り、テンションを与えながらかしめます。

バイオメタルは、弛んだ状態では十分に動作ストロークを取出すことができません。

適切なテンションにより初期ひずみを与える事で、大きなストロークを取出すことができます。

できあがりです。

